

令和3年度 岐阜各務野高等学校
第2回 学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜各務野高等学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月10日(水) 13:30~15:15
- 3 開催場所 岐阜各務野高等学校大会議室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 伊藤 浩 | 元各務原区長 |
| 副会長 | 臼井 俊裕 | 元岐阜各務野高校長 |
| 委員 | 野島 栄子 | 子苑第二幼稚園園長 (ご欠席) |
| | 服部 憲浩 | 各務原市産業活力部農政課長 |
| | 林 克幸 | サン・ビジョンジョイフル各務原施設長 |
| | 中川 信行 | PTA会長 (ご欠席) |
| | 山田三恵子 | PTA副会長 |
| 学校側 | 乙津真由美 | 校長 |
| | 野々村 健 | 教頭 |
| | 加藤 覚 | 教頭 |
| | 清水 尚 | 事務長 |
| | 鈴木 雅雄 | 教務主任 |
| | 洞口 哲二 | 生徒指導主事 |
| | 松本 正樹 | 進路指導主事 |
| | 久保 利光 | ビジネス科主任 |
| | 後藤 誠司 | 情報科主任 |
| | 小又 友樹 | 福祉科主任 |
| | 久野 恵里 | 記録係 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) スクール・ポリシーについて

意見1: 中学生には難しい内容であるため、どのような学習活動をしているか、どのような実習をしているのか、どのような検定や資格を取得できるのかなど、具体的に示すと、保護者や地域の方、中学生など本校のスクール・ポリシーへの理解を図ることができる。文章表現についてももう少しわかりやすい文言にするとよい。特に、中学生が本校のスクール・ポリシーを見て、「この学校に行ってみたい」と思えるように工夫するとよい。

意見2: 社会の変化により、企業や大学等が求める生徒像は変化している。その変化に対応するために委員の方々の願う「こんな生徒を育ててほしい」という生徒像が、スクール・ポリシーの内容に盛り込まれていると感じた。また、地域産業との連携や、生徒が主体となる課題解決的な学習活動について示されていることもよい。

意見3: 検定資格の取得は専門科高校の強みであるので、検定資格が社会や上位学校への進学に活かせる利点をスクール・ポリシーに加えるとさらによりものになる。特に、福祉科では、

国家資格である介護福祉士の資格が取れることは、介護職員初任者研修を受けて、実務者研修を受けるというカリキュラムが必要で、それが高校在学中にできることは福祉科の大きな特徴であるので、こういう点も学校としてアピールしていくとよい。

(2) 学校体育施設の開放について

＜本校の学校体育施設の部活動等の使用状況の説明＞

意見は特になし

(3) その他

意見1：コロナ禍において、様々な活動が制限される中、文化祭など学校行事を工夫してやることがわかった。社会に出ると、いかにビジネスマナーが大切であるかよくわかるので、授業の中でビジネスマナーを身に付けられるように指導を充実させてほしい。

意見2：授業の中でタブレット端末やパソコンなどICT機器の活用に入れていることがよくわかった。スクール・ポリシーのように企業でも理念・使命というものがあり、社員はそのキーワードを常に意識している。スクール・ポリシーもその理念が、教師と生徒の間で共有され、お互いの共感性が高まってくると、その先をどのようにしていくかということにつながっていくので、素晴らしい取組になる。

意見3：行政においては総合計画が策定されており、スクール・ポリシーというビジョンをもつことは必要である。本校のスクール・ポリシーは、それぞれの学科に合った内容になっている。また、中学生がスクール・ポリシーを見ることによって、「この高校に進学しようかな」という思いにつながると、さらに素晴らしいものになっていく。スクール・ポリシーをもとにして、「こういう活動をしていこう」となると、生徒だけでなく、地域や関係者にも、活動の意味がより伝わりやすくなる。

意見4：授業参観をしたが、生徒がとても落ち着いており、頭髪や服装など乱れた姿もなく、生徒指導が行きとどいていると感じた。ひとりひとりの良さを認め、励ますことで個性を伸ばしながらも、厳しく鍛えていく部分も必要なので、認めることと鍛えていくことの両面から、さらに生徒を伸ばしてほしい。

意見5：授業参観をして、タブレット端末やデスクトップ型のパソコンを使用し、これからの社会に必要なスキルを身に付けようと、生徒が意欲的に学ぶ姿がよかった。全体的に真面目に授業に取り組む姿が見られた。先生方の授業のテンポ、ハキハキと話す声の大きさ、生徒への問いかける言葉など、とてもよかった。

6 会議のまとめ

- ・ビジネス科、情報科、福祉科から1クラスずつ授業参観を行い、生徒が真面目に、真剣に学習活動に取り組む姿が好評であった。今後も授業改善を進めながら、さらに生徒が主体的に学ぼうとする姿を生み出すことができるような授業研究を進めていきたい。
- ・スクール・ポリシーについては、各委員の方から適切なアドバイスが得られた。今後学科ごとに検討をするとともに、学科を横断して共通で行うものについては関連をもたせるように工夫していきたい。また、中学生には内容が難しいという意見を踏まえて、第3回学校運営協議会では改善した最終案を提示できるようにする。